

河内長野ガスグループ

CSRレポート2016-2017



平成29年度 2年連続でおおさか
環境賞を受賞しました。



I N D E X

I. 社長のメッセージ／「CSRレポート2016－2017」 について(作成意義)	1
II. 私たちの約束(行動指針)／トピックス	2
III. 環境貢献への取り組み	3
1. 省エネ・環境性を配慮した社屋		
2. 社内活動		
IV. 地域貢献への取り組み	6
1. 地域防災への取り組み		
2. 地域とのふれあい		
3. 次世代育成の推進		
V. コンプライアンスへの取り組み	19
1. コンプライアンス会議		
2. コンプライアンスアンケート		
3. コンプライアンス研修会		
4. コンプライアンス相談窓口		
5. 地域において絶対必要な河内長野ガスグループ になるためのCSR活動		



○ Top Message 社長メッセージ

事業環境が大きく変化の中で
今、目の前のお客さまから
絶対的に信頼していただける
地域貢献型の企業を目指します

平素は河内長野グループの事業に格別のご支援をいただき誠に有難うございます。我々は常に地域に、地域の方々にどう貢献すべきかを十分に考慮してグループ事業を展開しております。

我々は「安心・安全の確保」、「健康で快適な生活を提案して喜んでいただく」ことに全力を挙げることで地域の皆さまの支持を得てまいりました。しかし地域の企業グループとして、地域の活性化に寄与する活動もこれから徐々に高めていくことも社会的使命と考え、進めていきたいと考えております。

毎年発行する手作りのCSRレポートですが、内容は毎年毎年濃くなっていくよう努力して参ります。まずは2016年度の活動についてご一読ください。

平成29年11月

河内長野ガス株式会社
代表取締役社長

山本明彦

「CSRレポート2016」について（作成意義）

私たちは、自然に恵まれた河内長野で天然ガスの供給を通じ、地域の皆さまの快適で安全な生活を守って参ります。また、エネルギー供給会社として、河内長野市、ひいては南河内全体の地域の発展や社会・環境問題に取り組み、皆さまに信頼され安心していただけることが、河内長野ガスグループの社会的責任を果たすことと考えています。私たちは、その実現のため、5つの約束を行動指針として、遵守致します。

私たちの約束（行動指針）～地域のお客さまの笑顔が見たい～

- 1 私たちはお客さまの安心・安全を第一に行動します。
- 2 私たちはお客さまに健康で快適な生活をご提案します。
- 3 私たちは住みよく、誇りの持てる街づくりに貢献すると共に、緑にあふれたこの街を未来の子供たちに残します。
- 4 私たちは思いやりと切磋琢磨が交差した働き甲斐のある企業をつくります。
- 5 私たちは法令を遵守し高い倫理観を持って、社会人として責任ある行動をとります。

私たちは、地域の皆さまに役立つ企業であるため、「私たちの約束（行動指針）」のもと、取り組んできた3つの活動をこのレポートにまとめました。そして、平成29年4月から始まる「ガスの自由化」に向けて、皆さまに選ばれる企業を目指し、努力して参ります。

トピックス

「おおさか環境賞」を2年連続で受賞いたしました。

この度、河内長野ガス株式会社は平成29年度「おおさか環境賞」協働賞を受賞し、9月11日、大阪府庁「正庁の間」で行われた授賞式で、弊社山本社長が大阪府竹内副知事より表彰状を授与されました。「おおさか環境賞」の受賞は、昨年の「小学校環境教育出前授業」に続いて2年連続の受賞となりました。今回受賞したのは、河内長野ガス株式会社が協賛し、スタッフとして協力参加している「天見子ども自然とあそびの教室」で、主催の「天見子ども自然とあそびの教室」実行委員会と特定非営利活動法人NACはこの事業で「おおさか環境賞」大賞を受賞しました。



I. 環境貢献への取り組み



エネルギー供給会社として、限られた資源を有効に活用するため、省エネに配慮した社屋を基点に、環境との調和をはかる活動を行います。

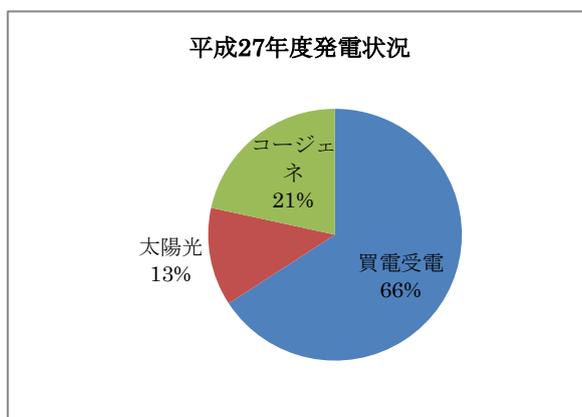
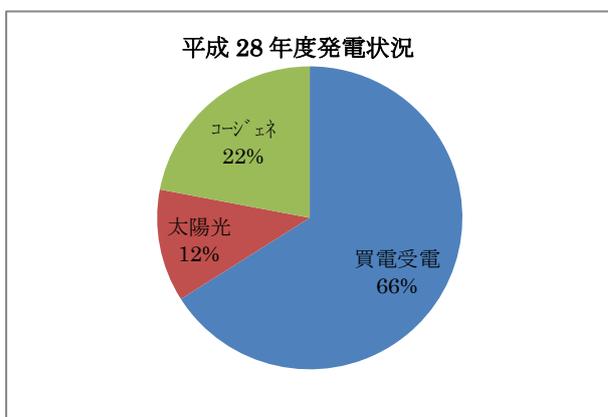
また、私たちが事業活動を営む社屋周辺を社内活動の一環として、定期的に全社員で清掃しています。

1. 省エネ・環境性を配慮した社屋

(1) 自社発電の電力量

河内長野ガスグループは、社屋屋上に 20kw の太陽光パネル及び 35kw のガスコージェネレーションシステム※を 2 台設置しています。エネルギーを供給する会社であるからこそ、限られたエネルギーを有効に使うため、自家発電で全電力使用量の約 3 割をまかなっています。

※ガスを使用してエンジンを稼働させ暖房と発電を行うシステム



(2) ISO 50001 認証取得

河内長野ガスグループは、平成 26 年 5 月に完成した社屋に、電力の使用量やガス・水道の使用量をトータル的に管理できる BEMS (ビル・エネルギー・マネジメント・システム) を採用し、エネルギー使用の詳細データの収集と“見える化”を図りました。エネルギー使用を“見える化”することにより、合理的に管理し、エネルギー会社として、エネルギー使用の削減を目指します。その 1 つの手段として、平成 26 年 2 月にエネルギーマネジメントシステム (EnMS) の国際規格である ISO50001 を認証取得いたしました。これまでの地域に根差した都市ガス事業者としての環境貢献に加え、エネルギー使用の効率化、削減に努めて参りたいと考えております。

過去及び現在のエネルギー使用及び使用量の評価

平成 27 年度 および 28 年度 エネルギー使用実績報告 (単位 MJ)

月	ガス						電力										気温	
	空調		一般		コージェネ		コンセント		照明		換気		空調		サーバー		H27	H28
	H27	H28																
4月	9,360	5,265	23,130	23,400	58,365	60,435	38,444	37,108	42,043	39,222	19,103	26,550	13,709	14,516	31,485	31,356	20.4	21.3
5月	38,925	42,435	19,665	21,915	61,155	70,605	38,016	36,191	41,665	39,272	23,260	40,259	12,293	16,401	34,028	34,077	27.3	26.7
6月	60,615	69,480	17,685	19,080	82,170	82,395	37,846	36,331	42,482	41,146	42,422	39,013	13,739	21,106	34,327	34,536	27.3	27.9
7月	101,970	122,130	15,660	18,090	85,185	89,415	37,966	37,058	39,561	41,744	45,314	57,906	18,076	20,708	38,534	39,950	31.6	33.4
8月	118,260	130,590	15,390	18,045	72,225	86,040	35,772	37,158	36,490	39,531	28,763	56,420	20,269	21,356	40,628	41,675	33.7	34.9
9月	65,025	88,290	20,250	18,675	71,730	90,945	34,446	35,503	38,803	42,871	27,717	53,569	17,109	18,654	33,958	38,155	27.2	30.0
10月	34,515	38,250	23,355	22,185	75,600	80,280	37,846	36,221	42,612	44,426	41,515	39,362	15,294	16,879	33,041	37,437	23.3	24.2
11月	10,080	9,135	21,870	26,100	65,835	67,230	36,739	38,225	41,356	44,426	22,233	15,503	11,954	16,889	31,116	34,058	17.8	16.5
12月	38,970	35,235	29,790	30,780	68,985	70,830	39,431	39,611	42,183	44,237	25,164	21,077	15,095	21,954	32,682	36,042	12.7	12.2
1月	55,395	71,550	30,960	31,905	62,280	68,310	39,262	39,780	38,175	42,313	15,254	21,416	17,727	22,642	33,639	37,527	9.6	8.6
2月	41,355	63,180	30,330	29,385	58,005	62,010	37,437	36,739	38,394	40,059	14,795	18,634	17,069	19,900	31,685	34,157	10.6	9.3
3月	26,730	42,390	28,620	31,275	57,375	63,180	39,421	40,947	40,907	44,327	16,291	16,889	16,809	22,403	32,462	36,590	15.2	12.9
合計	601,200	717,930	276,705	290,835	818,910	891,675	452,628	450,872	484,672	503,574	321,832	406,598	189,141	233,408	407,584	435,560		

※平成 27 年度と比較し、平成 28 年度のエネルギーの使用量が増えていますが、温度等の影響があり、近似式により目標を補正した結果、下記の通り達成しました。

平成 28 年度エネルギー使用量目標進捗

	平均最高気温 H27度実績	H28年度目標 (MJ/m ² ・月)	平均最高気温 H28度実績	使用量実績 (MJ/m ² ・月)		
4月	20.4	263.4	21.3	229.72		
5月	27.3	303.3	26.7	287.02		
6月	27.3	358.8	27.9	331.15		
1Q合計		925.4		847.90	目標比	91.6%
7月	31.6	424.6	33.4	401.13		
8月	33.7	400.8	34.9	408.31		
9月	27.2	351.8	30.0	355.90		
2Q合計		1177.2		1165.34	目標比	99.0%
10月	23.3	324.3	24.2	292.57		
11月	17.8	269.7	16.5	239.66		
12月	12.7	314.3	12.2	290.53		
3Q合計		908.4		822.75	目標比	90.6%
1月	9.6	318.3	8.6	333.96		
2月	10.6	308.6	9.3	299.29		
3月	15.2	292.9	12.9	296.89		
4Q合計		919.8		930.15	目標比	101.1%
年間		3930.8		3766.13	目標比	95.8%

上記の通り、近似式より得られた目標に対して、年間で-4.2%と目標を達成しました。しかしながら、空調を使用する時期を中心に単月では目標未達のところも多いです。空調のエネルギー使用と共に換気の設定等に改善の余地があると思われ、今後の課題となっています。

(3) 河内材の使用について

河内長野市は豊かな森林に恵まれ、古くから河内林業地として木材を生産してきました。河内長野ガスグループでは、新社屋を建設する際に、この地場産の河内長野杉を床面や壁面に用い、木の温もりを感じる空間に設えました。

また、社屋 1 階のセミナールームに設置された冷房・暖房空調のエネルギー源は、大阪府森林組合の間伐材（河内材）を加工した木質ペレットです。森林資源の循環ができ、地球温暖化を防止できます。



社屋内の様子



ペレット式空調屋外機

2. 社内活動

(1) 近隣清掃

河内長野ガスグループは、河内長野市の掲げる「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」に賛同し、月 1 回を目途に、本社周辺および「アドプト・ロード・プログラム」と名付けられた歩道の清掃活動を行っています。尚、「河内長野市アドプト・ロード・プログラム」とは、河内長野市が管理する道路の一定区間において、地元自治会や企業等の団体が市と協力し合いながら継続的に清掃等のボランティア活動を実施し、地域に愛されるきれいな道路づくりや地域の環境美化に取り組む制度です。平成 28 年度は 7 回（4月、5月、6月、11月、12月、1月、3月）実施しました。



近隣清掃の様子

Ⅱ. 地域貢献への取り組み



河内長野ガスグループは、地域の企業として、お客さまとのコミュニケーションを図り、良き企業市民として、河内長野地域に貢献するよう努めております。

平成 28 年度は、地域貢献として、「地域防災への取り組み」、「地域とのふれあい」、「次世代育成の推進」の3つの柱を掲げ、取り組んで参りました。

1. 地域防災への取り組み

(1) 「河内長野地域連携防災まちづくり講座（計 5 回）」

第 1 回 「地域連携で取り組む防災まちづくり講座」

第 2 回 「地域で助け合う災害弱者支援講座／緊急時におけるネットワークの活用」

第 3 回 「クロスロードゲーム」

第 4 回 「災害時の外国人支援講座」

第 5 回 「簡単おいしい非常食講習会」

この講座は、平成 24 年度に耐震性の問題で、河内長野ガスの新社屋建設が計画されてから、防災面で地域に貢献できないかと河内長野市に呼びかけ、紅谷昇平特命准教授（当時神戸大学／現兵庫県立大学）をお迎えし、地域団体の方々と交えた産・官・民が一体となって取り組んできた「防災まちづくり勉強会」の成果の一つとして実現したものです。

昨年度に引き続き、河内長野市民大学くろまる塾認定講座（5 回シリーズ）として開講いたしました。河内長野ガスは、第 1 回と第 5 回の発表を担当し、第 1 回では、河内長野ガスと河内長野市との防災協定に基づく、かまどベンチやマンホールトイレなどの見学も交えた地域防災支援施設としての河内長野ガス社屋の役割と機能について、説明させていただき、また、第 5 回「簡単おいしい非常食講習会」では、参加者に実際に非常食を作っていただきました。参加者の皆さまの防災への関心の高さをうかがうことができました。

第 1 回 「地域連携で取り組む防災まちづくり講座」

開催日時：平成 28 年 7 月 21 日（木）午後 1 時 30 分～3 時 30 分

開催場所：河内長野ガス㈱1 階セミナー室

参加者数：11 名

①「防災支援拠点施設（河内長野ガス社屋 1 階）の役割と機能について（河内長野ガスの新社屋の見学含む）」

発表者：河内長野ガス㈱ お客さま部 内田 純一

②「長野小学校区まちづくり会議の防災の取り組みについて」
発表者：長野小学校区まちづくり会議 会長 大谷 多美子様

③「河内長野市における災害と自助・共助について」
発表者：河内長野市危機管理課係長 市村 公伸様

第1回ふりかえり

第1回目の講座が河内長野ガス社屋1階セミナー室にて開講。河内長野ガスグループは、河内長野市と協定を結んで「防災支援拠点施設」となった社屋の機能と役割について説明し、その設備を参加者に見学していただきました。また、長野小学校区まちづくり会議大谷会長が、長野小学校区内における防災の取り組みについて、更に河内長野市危機管理課市村係長が、災害時に、いかにして自分の身を守り、協力して助け合うかを話されました。



河内長野ガス社屋見学の様子



地域連携講座の様子

第2回 「地域で助け合う災害弱者支援講座」

開催日時：平成28年8月18日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス(株)1階セミナー室

参加者数：13名

① 「地域で助け合う災害弱者支援講座」

発表者：河内長野市社会福祉協議会 企画総務課長 河浦 和哉様
地域福祉推進係長 土橋 崇之様
市立障がい者福祉センター「あかみね」 神谷 佳明様

② 「緊急時におけるネットワークの活用」

発表者：ドコモショップ河内長野店 株式会社エム・エフ・ケイ 四ヶ所 伸一様

第2回ふりかえり

第2回目は、河内長野市社会福祉協議会 企画総務課の河浦課長を中心に、災害弱者である、平常時から何らかのハンディを持っておられる方々を、災害時、いかに支援していくのかという話をされました。一方、ドコモショップ河内長野店(株)エム・エフ・ケイ 四ヶ所様が、災害時、回線が込み入る中、家族と連絡を取り合う「災害伝言板」等、携帯電話の活用方法についての講話がありました



地域で助け合う災害弱者支援講座の様子

第3回 「クロスロードゲーム」

開催日時：平成28年10月20日(木) 午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス(株)1階セミナー室

参加者数：11名

① 「クロスロードゲーム」

発表者：河内長野市立市民公益活動支援センター(るーぶらざ) 堀 泰明様

第3回ふりかえり

第3回目は、河内長野市立市民公益活動支援センター（るーぷらざ） 堀様が、はじめに「クロスロードゲーム」についての説明をされ、グループごとにゲームを行いました。「クロスロードゲーム」とは、カードを用いたゲーム形式による防災教育教材です。ゲームの参加者は、カードに書かれた事例を自らの問題として考え、YES か NO かで自分の考えを示すとともに、参加者同士が意見交換を行いながら、ゲームを進めていきます。シンプルなゲームですが、奥が深く、参加者の皆さまは、和気あいあいとした雰囲気の中、真剣にゲームに取り組んでおられました。



クロスゲームの様子

第4回「災害時の外国人支援講座」

開催日時：平成28年12月15日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱1階セミナー室

参加者数：8名

- ① 「災害時の外国人支援講座／日本語に不慣れな外国人への支援のありかたについて考える。」

発表者：河内長野市国際交流協会 事務局長 板東 可奈子様

第4回ふりかえり

第4回目は、災害時、日本語に不慣れな外国人をいかにして支援するかを考えました。講師は、国際交流協会の板東様が務められました。参加者の方々は、熱心に聴講され、自分の意見を仰っていました。この講座で、私たちは、自分の周りに目を向け、配慮していくことが重要であると実感しました。



講座の様子

第5回「簡単おいしい非常食講習会」

開催日時：平成29年2月23日（木）午後1時30分～3時30分

開催場所：河内長野ガス㈱1階セミナー室

参加者数：8名

① 「災害非常食について」

発表者：河内長野ガス株式会社 お客様チーム 内田 純一

② 「災害非常食の調理方法について」

講師：河内長野ガス株式会社 お客様チーム 南出 明美

第5回ふりかえり

第5回目は、第1回に引き続いて、河内長野ガスが担当しました。前半は災害に備えて非常食をいかに保存するか、「ローリングストック※」という保存方法についてお話ししました。後半は場所を料理講習室に移し、ローリングストック等により、保存できる食材を用いて、おいしく料理する実習を行いました。最後は、参加者の方々に1年間実施してきた講座の振り返りと感想を述べていただきました。参加された皆さまは、防災に高い関心を持っておられ、このような方々が1人でも多く増えていき、河内長野全体に広がってほしいものです。

※ローリングストックとは、非常食を日常的に食べて、食べたらいきなり買い足すという行為を繰り返し、常に家庭に新しい非常食が備蓄されているという、まさにその名の通り「食べ回しながら備蓄する」という方法です。



簡単おいしい非常食講習会の様子

(2) 「美加の台学園祭」

9月10日(土)、美加の台小学校で、「学校を中心にして地域の防災を考える」をテーマに、小中合同の美加の台学園祭があり、河内長野ガスも出展し、ガスの安全に関するクイズで楽しんでいただきました。約200名が挑戦し、少し難しい内容でしたが、参加した小中学生は、パネルに書かれたヒントをもとに、一生懸命解答していました。これを機会に、ガスに関心を持っていただければ幸いです。



河内長野ガスのブース

(3) 平成28年熊本地震災害義援金についてのお礼とご報告

ショールーム”crassimo”に設置していました募金箱に、平成28年4月15日(金)から6月30日(木)までに皆様からお寄せいただきました義援金の総額は22,500円となり、日本赤十字社 平成28年熊本地震災害義援金に振り込みましたことをご報告いたします。

皆様の温かいお気持ちに感謝いたします。ご協力ありがとうございました。



2. 地域とのふれあい

(1) 「第 24 回河内長野市民まつり」

5 月 15 日（日）、「第 24 回河内長野市民まつり」に出展致しました。当日、市民まつり全体の来場者は約 5 万人でした。ステージでは、様々な団体が、ダンスや和太鼓など、日頃の練習成果を披露していました。河内長野ガスもブース出展し、地球温暖化やその原因となる二酸化炭素を各家庭で削減するためにできること等の情報をパネル展示し、クイズでお楽しみいただきました。



会場の様子

(2) 「平成 28 年度河内長野市防火協会自衛消防隊部会視閲式・消火技術錬成会」

平成 28 年 10 月 19 日（水）、平成 28 年度河内長野市防火協会自衛消防隊部会主催の視閲式並びに消火技術錬成会が開催され、市内各事業所の自衛消防隊は日ごろの訓練の成果を披露しました。わが河内長野ガス自衛消防隊は、屋内消火栓競技において、残念ながら敢闘賞(5 位)で、屋内消火栓競技では日ごろの成果を発揮し準優勝を獲得いたしました。



錬成会の様子

(3)「ボランティア・市民活動フェスティバル」

平成 29 年 2 月 26 日（日）、第 17 回ボランティア市民活動フェスティバル※1 が市民交流センター（キックス）、河内長野市立市民公益活動支援センター（るーぷらざ）を中心に開催されました。今年度は河内長野ガスグループショールーム「クラッシモ」のセミナー室と料理講習室も会場として利用され、合計 1,296 名の方々が来場されました。セミナー室では、東北大震災で被災された岩手県大槌町の支援団体様や市役所危機管理課様によるパネル展示、応急処置体験、大槌町の物産品販売が行われました。一方、料理講習室では、地球号クッキンググループ様や NPO 法人はびえる様、河内長野市立市民公益活動支援センター（るーぷらざ）様がおでん、お弁当や焼きそばを販売され、大槌町支援団体様がみそ汁を無料で振る舞われました。

※1 河内長野市立市民公益活動支援センター（るーぷらざ）が主催し、河内長野で活躍する、ボランティア団体による活動を紹介するイベントです。



会場の様子

(4)「みんな集合！！生活情報展」

平成 29 年 3 月 3 日（金）～4 日（土）、ノバティながの南館 3 F にて、生活情報展※1 が開催され、約 300 名の方が参加されました。河内長野ガスも出展し、参加した方々はガス機器のクイズに挑戦し、正解者には素敵な景品が当たるスピードくじを引いていただきました。

また、今年度は、くらしのミニ講座を担当し、「私たちができる防災」について、河内長野ガスの担当者が話をしました。今、注目されている「ローリングストック」という非常食の保存方法について説明し、最後は、紙のお皿作りをしていただきました。こういった経験を通じて少しでも防災に関心を持っていただければ幸いです。

※1 生活情報展は、河内長野市が主催し、河内長野市内の消費生活の各関係団体が日頃の活動の成果を持ちより、情報発信をする年に 1 度開催されるイベントです。



会場の様子

(5) 地域生活総合支援センターきらら様が河内長野ガスへ実習に来られました。

平成28年6月1日(水)～6月2日(木)の2日間、地域生活総合支援センターきらら様から障がい者の方々が実習に来られました。河内長野ガスでは、6月10日(金)～12日(日)まで、恒例の「夏のガス展」があり、お客さまへの案内状をセットする作業をしていただきました。皆さん、一生懸命、作業をされていました。



実習の様子

3. 次世代育成の推進

将来を担う子ども達を、環境面において、教育していくことが河内長野ガスの社会的責任と考え、長年にわたり地道な活動を行ってまいりました。

(1) 「小学校環境教育出前授業」

平成 18 年度より、ガスの供給を通じて地域にかかわる会社として、地域で学ぶ次世代の育成に貢献できればと考え、河内長野市教育委員会と連携し、河内長野市内の各小学校対象に地球温暖化問題を中心としたエネルギー環境教育を行い、平成 27 年度まで、延べ 49 の小学校に 115 回の授業を行いました。

毎年 4 月に河内長野市教育委員会から、河内長野市内の各小学校に向けて、出張環境授業の募集をしてもらい、応募があった小学校に出向いて、授業を行います。

現在、プログラムは、3 種類あり、「A：地球温暖化を学ぶ」、「B：くらしの見直し隊」、「C：ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」となっています。プログラムは、各小学校に選択していただいています。この活動は、大阪府に評価され、平成 28 年度に「おおさか環境賞」準大賞を受賞しました。

「A：地球温暖化を学ぶ」は 90 分授業で、前半は地球温暖化の影響や地球温暖化のしくみについて学び、後半では、地球環境を守るために、一人ひとりが毎日のくらしの中で省エネルギーに取り組むことが大切だということを、三択クイズや何の音かを当てる音当てクイズを通じて、理解してもらいます。授業は、各小学校の希望により、45 分の短縮版（短縮版名称：地球温暖化をさぐる／ストップ地球温暖化）もあります。

「B：くらし見直し隊」は、45 分授業で、二酸化炭素（CO₂）排出量を削減することについて、ゲーム形式で楽しく学びます。毎日のくらしを見直し、「地球温暖化を防止するために、毎日続けられること」を実践するきっかけを作ります。

「C：ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」は、45 分授業で、6 年生理科単元「ものが燃えるとき」に対応したプログラムです。理科授業の復習、ガスコンロを知ろう、燃焼実験という内容になっています。マッチ、ろうそく、ガスコンロの炎の観察と食材をつかった燃焼実験（あぶり）を通じて燃焼に必要な条件、燃え方の違い、火の色々な役割を知ります。

平成 28 年度の活動内容

- ・平成 28 年 6 月 16 日 (木) 天見小学校 「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」



- ・平成 28 年 7 月 5 日 (火) 高向小学校 「ガスコンロのしくみ、燃焼のふしぎ」



- ・平成 28 年 10 月 28 日 (金) 三日市小学校 「くらし見直し隊」



- ・平成 29 年 2 月 16 日 (木) 楠小学校 「地球温暖化をさぐる」



(2) 「天見 子ども自然とあそびの教室」活動協力

天見子ども自然とあそびの教室実行委員会と NPO 法人ナック (NAC) が主催する「天見子ども自然とあそびの教室」に協賛し、天見公民館を活動拠点として、天見地区の自然 (山野・川) 等を生かした種々の体験活動のサポートをしています。各年度 5 月から翌年 3 月まで、毎月 1 回、合計 11 回開催され、集まった河内長野市内の小学校のたくさんの子ども達は、普段、あまり触れることのない自然を前に、目を輝かせていました。

この度、この活動が評価され、主催の「天見子ども自然とあそびの教室」実行委員会と特定非営利活動法人NACは平成29年度「おおさか環境賞」大賞を受賞しました。河内長野ガス株式会社は「天見子ども自然とあそびの教室」に協賛し、スタッフとして協力参加しており、その功績が称えられ、「おおさか環境賞」協働賞を受賞し、9月11日、大阪府庁「正庁の間」で行われた授賞式で、弊社山本社長が大阪府竹内副知事より表彰状を授与されました。「おおさか環境賞」の受賞は、去年の「小学校環境教育出前授業」に続いて2年連続の受賞となりました。

平成 28 年度各月の活動内容

- ・ 5 月 「野や山の宝物さがし」
- ・ 6 月 「ネイチャーゲーム」
- ・ 7 月 「竹のクラフト」
- ・ 8 月 「川遊び・水生生物観察」
- ・ 9 月 「川遊びと魚釣り」
- ・ 10 月 「どんぐりひろいとクラフト」
- ・ 11 月 「天見周辺をポイントハイキング 草や木の実や種を集めよう」
- ・ 12 月 「お正月のしめなわづくり」
- ・ 1 月 「落ち葉で焼きいも」
- ・ 2 月 「レクレーションとゲーム」
- ・ 3 月 「家族と一緒にカーニバル」



教室の様子

Ⅲ. コンプライアンスの取り組み



河内長野ガスグループは、全ての役員および従業員が、コンプライアンスを確実に実施することで、地域の皆さまからの信頼を得る健全な会社を目指しています。また、コンプライアンスを、法令遵守だけでなく、社会の一員としての良識ある行動までを含む企業倫理の観点から捉え、お客さま、取引先さまなど全ての人々と公正な関係を維持し、信頼をより強固なものとすることに努めて参ります。

1. コンプライアンス会議

河内長野ガスグループでは、月に1回、企業法務の専門家である追手門学院大学 教授 水野浩児先生をお迎えし、コンプライアンス委員によるコンプライアンス会議を開き、グループ全体のコンプライアンスに関する事案の対策検討、情報、意見交換を行っています。

2. コンプライアンスアンケート

河内長野ガスグループでは、全社員を対象にした、コンプライアンスに関するアンケート調査を定期的実施し、全社員のコンプライアンスへの意識付けをしています。また、コンプライアンスに関する問題の早期発見にも繋げる努力も行っています。

回答率：平成 27 年度 94% 平成 28 年度 95%

3. コンプライアンス研修会

河内長野ガスグループでは、全社員を対象に、年に1回、外部専門家によるコンプライアンス研修会を実施しています。コンプライアンスアンケートと共に、全社員のコンプライアンスに対する意識付けを徹底しています。

また、平成 28 年 10 月 14 日（金）「平成 28 年度 株式会社リビングセンター長野 安全大会」が、河内長野ガス本社ビルにて行われ、協力会社（24 社 24 名）にお集まりいただきました。前述の水野浩児先生をお招きし、「企業のコンプライアンス」について、お話しいただいたのはじめ、ガスに関わる事故事例、現場マナーの話がありました。

リビングセンター長野では、毎年、安全大会を通じて、お客さまに信頼していただき、安心してご利用いただくため、仕事の見直しを図って参ります。



研修会の様子

4. コンプライアンス相談窓口

河内長野ガスグループでは、コンプライアンスを浸透させるため、従業員 1 人 1 人が問題意識を持つことや、またコンプライアンスを相談できる体制作りが重要と考えています。コンプライアンスに関する相談及び報告制度として、外部専門家に直接相談できるコンプライアンス相談ラインを設置しています。

5. 地域において絶対必要な河内長野ガスグループになるためのCSR活動

追手門学院大学 教授 水野浩児

河内長野ガスグループは、河内長野市民の皆様とともに成長し、発展してきました。河内長野の発展なくしては、河内長野ガスグループの将来はあり得ません。河内長野ガスグループの長期ビジョンは「地域のお客様の笑顔獲得ナンバーワン企業」と「地域のお客様に最も信頼され、支持される企業」を掲げています。まさに「地域のための企業」であることを意識しながら日々の活動を行っていると言えます。

地域のために動くことは、言葉では簡単ですが、何をするのか悩み苦しみ、常に考えながら活動をしていかななくてはなりません。私たちの暮らしに欠かせないガス供給を担っている河内長野ガスグループが、河内長野市民の皆様の役に立つこととは、「お客さまの求める安全で質の高いサービスの提供」を行い、地域の皆様に「安全」「安心」を感じていただくことは当然です。その前提の中で、地域の皆様とさらに一歩進んだ信頼関係を構築することができなければ、河内長野ガスグループの存在意義はないと考えています。

地域の皆様に信頼していただける活動を続けた結果、2016年に続き2017年もおおさか環境賞を受賞することができました。2016年の受賞は、小学校環境教育出前授業を長期にわたり行ったことが評価され、2017年は特定非営利活動法人NAC様との共同で行っている「天見子ども自然と遊びの教室」を長期的に行ったことが評価されました。派手さはないが、地道に地域貢献を行う河内長野ガスグループらしい活動だと思います。このCSRレポートは、地域のために地道に努力する河内長野ガスグループの姿勢を内外に伝える一つの手法だと考えています。

2017年4月からガス事業の自由化がスタートしました。ここからが河内長野ガスグループの実力が発揮される正念場だと思います。地域の方に選んでいただける、必要な企業であり続けるために、これからもコンプライアンスやガバナンス（企業統治）等を強化し、地道な活動を続け、地域の皆様に「評価」されるパートナーになるよう、専門家としてサポートしていきたいと考えています。そして河内長野ガスグループが使命を果たし、地域の皆様に必要不可欠な存在になれることを願って結びとさせていただきます。



追手門学院大学 水野 浩児 教授